

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	連続立体交差事業（開かずの踏切対策）による踏切事故の解消及び安全・安心な地域づくり（交通拠点連携集中支援）（防災・安全）											
計画の期間	平成30年度～令和4年度（5年間）											
交付対象	大阪府											
計画の目標	鉄道を高架化して開かずの踏切を除却することにより、踏切事故の解消を図り安全かつ円滑な交通を確保するとともに、安全・安心な地域づくりを実現するものである。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	140,909	A	140,909	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値		
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値
					H30当初	H32末	H34末
1	踏切事故件数の減少						
	踏切事故件数の減少				0%	0%	0%
2	踏切渋滞の解消						
	1日あたりの踏切遮断時間の減少				253h/日	253h/日	253h/日
	1日あたりの踏切遮断時間= 除却対象踏切の1日あたりの遮断時間[踏切交通実態総点検結果（H19.4公表）] × 【除却済[0]、片側除却[0.6]、未完了[1]】						
3	事業費の進捗率						
	事業費の進捗率				7%	18%	30%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	<input checked="" type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
・（大阪府地域強靭化計画）に基づき実施される要素事業：A全て												

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

大阪府道路室で評価を実施

事後評価の実施時期

令和2年4月

公表の方法

大阪府ホームページに掲載

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

連続立体交差事業を実施中。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

平成31年度より連続立体交差事業補助に移行した。
引き続き連続立体交差事業を着実に進めていく。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	0%	
	最終実績値	0%	
2	最終目標値	253h/日	
	最終実績値	253h/日	
3	最終目標値	30%	平成31年度より連続立体交差事業補助に移行
	最終実績値	19%	